

東 魂



埼玉県立越谷東高等学校
剣道部通信
第38号 2021/5/24

『4月赤胴杯』R3.5.7 (本校剣道場)



【優勝者の一言】

小林 瞬也

今回の赤道杯は、最後の赤胴杯になりましたが勝つことが出来て良かったです。高校3年間は、今までの剣道人生の中で、1番楽しく充実した剣道が出来ました。1つの事をやり遂げると言うことは、私自身とても苦手ですが、剣道だけは十年以上続けています。これは、誇りであり自信にもなっています。途中、何度も辞めたくなり、挫折を経験しましたが、結果としてここまで続けてきて本当に良かったです。まだ、精神的に子供な面もありますが、剣道やっていたからこそ得られた知識や礼儀などを学ぶことができ、損したことはありませんでした。幼少期から、言葉遣いであったり、目上の方との接し方を学ぶ事が出来るのは武道特有のものだと思います。時に厳しく、時に優しく教えてくださる先生方の背中はとても大きく、輝いて見えていました。私もそうなりたいと思い、目指してきたからこそ、今の部長という立場に立たせて頂けてるのだと思います。目標を持たずに何か漠然と努力していても成長出来ないということも部長だったからこそ学ぶことができました。次は受験に向かってこの経験から学んだことを活かし、自分の行きたい進路に進んでいきたいと思っています。

優勝

男子 小林 瞬也 (6回目)

『関東高等学校剣道大会埼玉県予選会』R3.5.11 (県立武道館)

<男子団体> 県大会ベスト16

先鋒	植竹 未来翔 (3年)	1回戦	○越谷東5 (8) 対 (1) 0開智中高×
次鋒	亀田 龍飛 (2年)	2回戦	○越谷東1 (3) 対 (3) 1武南× (代表戦○)
中堅	染谷 優友 (2年)	3回戦	○越谷東3 (4) 対 (1) 1浦和北×
副将	笹原 真翔 (2年)	4回戦	×越谷東0 (0) 対 (8) 4城北埼玉○
大将	小林 瞬也 (3年)		
補欠	重見 拓海 (2年)		
	酒井 泰我 (1年)		
	小笠原 基晴 (1年)		



あと1勝で関東大会出場と大変悔しい結果となりましたが、県大会ベスト16(IH予選の県大会シード権獲得)は次の大会に繋がる素晴らしい結果となりました。選手たちは次を見据えて既に課題をもって取り組んでいます。